

小田急多摩線延伸ニュース

COME TRUE

～第6号～ H20.3.28

発行/
小田急多摩線延伸促進協議会
(平成14年9月発足)
編集/
相模原市
小田急多摩線・新交通推進課

COME TRUE とは、「実現する、本当になる」という意味を持つ言葉です

会長あいさつ

小田急多摩線延伸促進協議会
会長 成川 猛



私ども小田急多摩線延伸促進協議会は、小田急多摩線延伸の早期実現を強力に促進することを目的に、要望活動や研修会などの様々な促進活動、PR活動を展開しております。

こうした中、平成18年5月には、日米両政府の間で、相模総合補給廠の一部が鉄道及び道路用地として返還合意されたことで、小田急多摩線の市内乗り入れに対する大きな課題の一つが取り除かれ、実現に大きく近づいたと期待を寄せているところでございます。

今後は、相模原市民の皆様はもとより、町田市や愛川町などの周辺地域の皆様とも連携を図りながら、JR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には田名方面への延伸が一日でも早く実現されるよう更に活発な活動を行ってまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年度の主な取り組み

- 平成19年5月 若葉まつりで協議会活動をPR
- 7月 「田名地区公共交通整備促進協議会」が本協議会に加入
- 11月 「交通まちづくりシンポジウム」を開催
- 平成20年2月 相模原市、小田急電鉄への要望活動を実施
町田市、神奈川県へ活動状況を報告

相模原市の取り組み

相模原市では、「小田急多摩線の延伸」や「新しい交通システムの導入」、「リニア中央新幹線の駅誘致」の3つの大きな事業が考えられています。

これらの事業の財源として、市の積立金にあたる「都市交通施設整備基金」を設置し、平成20年度から積み立てが行われます。併せて、趣旨に賛同する市民や企業などからの寄附についても受付が可能となります。詳しくは、市のホームページをご覧ください。

延伸路線周辺図



構成団体

相模原市自治会連合会、小山地区自治会連合会、清新地区自治会連合会、横山地区自治会連合会、中央地区自治会連合会、星が丘地区自治会連合会、光が丘地区自治会連合会、大沢地区自治会連合会、田名地区自治会連合会、上溝地区自治会連合会、相模原商工会議所、相模原中央商店街協同組合、相模原西商店街協同組合、相模原東商店街協同組合、さがみ夢大通り商店会、西門商店街協同組合、みなし商栄会協同組合、矢部商工みどり会、上溝商店街振興組合、水郷田名観光協会、田名財産管理委員会、田名地区公共交通整備促進協議会（以上22団体）

【小田急多摩線延伸促進協議会の取り組み】

http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/mati_kei/odatama/html/tosikou_04b.html

平成19年度下半期小田急多摩線延伸促進協議会活動報告

～交通まちづくりシンポジウムを開催！～

本協議会の設立5周年を記念して、平成19年11月4日に「交通まちづくりシンポジウム」を相模原市立あじさい会館にて開催し、相模原市民の方だけではなく、町田市や愛川町などから、約300の方にお越しいただき、延伸に対する関心の高さを改めて感じる事ができました。

【当日の概要】

1. 活動報告：これまでの活動経過及び今後の活動計画について、報告をいたしました。
2. 基調講演：黒川法政大学教授から、相模原・町田地域のポテンシャルの高さや小田急多摩線延伸の必要性について、「相模原・町田地域は、福岡、広島、仙台という政令市と同水準の人口規模であり、仙台が東北の中心都市となったように、相当のポテンシャルを持っている。」「こうしたポテンシャルを生かし、自立した都市を目指すためには、小田急多摩線の延伸など、広域的な交通基盤の構築が必要となる。」との内容のご講演をいただきました。
3. パネルディスカッション

黒川教授の進行で、山内一橋大学教授、マリ・クリスティーヌさん、加山市長をパネリストにお招きして、小田急多摩線の市内乗り入れやまちづくりについて、それぞれの立場から、ご意見をいただきました。



黒川教授

<発言要旨>

- ・山内教授
「相模総合補給廠の一部返還合意で状況は大きく変わった。大規模な公共事業はタイミングを逃してはならない。」
- ・マリ・クリスティーヌさん
「自然環境、教育、福祉などの地域づくりとセットで交通問題を考えるべき。自分の地域の将来的なビジョンが必要。」
- ・加山市長
「小田急多摩線の延伸は、一定地域の利便性を高めるだけでなく、本市全体の発展や高齢社会・環境問題への対応などの観点からも必要。」



(左から) 山内教授、マリ・クリスティーヌさん
加山市長、成川会長

～要望活動を実施～

平成20年2月4日に、相模原市と小田急電鉄を訪問し、「小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書」を提出するとともに、意見交換を行いました。

その中で、小田急多摩線延伸の早期実現に向けて、連携を図りながら協力していくことを確認しました。



加山市長（右）に要望書を手渡す成川会長



小田急電鉄抱山部長（右）に要望書を手渡す成川会長

この他、2月7日に神奈川県と町田市を訪問し、協議会の活動報告を行いました。